地球のワクワク！発見しよう

2020 年度

こどもエコクラブ

事業実施要領

持続可能な地域社会へのプラットフォームとして、
環境学習・環境保全活動を通じて、子どもの

「未来を創る力」を育てます。

地域において環境に関心を持つ人を増やし、

環境保全を促進します。

こどもエコクラブとは

こどもエコクラブは、幼児（3 歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。子どもたちのエコ活動や環境学習を支援することで、身近な自然を大切に思う心と、問題解決のために自ら考えて行動する力を育みます。そうした体験を通して、子どもたちが人と環境の関わりについて理解を深め、地域単位で環境保全活動の環が広がることを目的としています。

こどもエコクラブは、事業開始から25 周年を迎えます。大人になったかつての子どもたちが、こどもエコクラブの活動を通して培った力を地域の環境保全やまちづくりに発揮しはじめている中、私たち全国事務局も、子どもたちに負けない活動を展開してまいります。

なにとぞお力添えのほど、お願い申し上げます。

－目次－

Ⅰ　こどもエコクラブとは　P. 2
Ⅱ　自治体におけるこどもエコクラブの活用　P. 3
Ⅲ　地域事務局としてご協力いただきたいこと　P. 5
Ⅳ　自治体によるこどもエコクラブ支援事例　P.10
参考１　こどもエコクラブの運営体制　P.11
参考２　こどもエコクラブ事業のしくみ　P.13

後援：環境省

Ⅰ こどもエコクラブとは

こどもエコクラブは、幼児から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。子どもたちのエコ活動や環境学習を支援することで、身近な自然を大切に思う心と、問題解決のために自ら考えて行動する力を育みます。また、子どもたちが人と環境の関わりについて理解を深めることで、地域に根ざした環境保全活動の環が広がることを目的としています。

2015 年、17 の項目からなる「国連持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。こどもエコクラブは地域での活動を通してその達成に取り組み、持続可能な社会づくりの主役となる子どもたちを育てます。

【活動の例】

環境ラベルの一つであるエコマークについて学び、身の回りのどんなものについているのかを調べた。周りの人にも呼びかけ、環境に配慮した消費活動に関心を深めた。

地球温暖化防止に関するワークショップを実施。国際的な交渉を素材にした朗読劇をつくり、上演することで理解を深めた。
自分たちにできることについても話し合った。

◎こどもエコクラブのビジョン(＝理想の未来)

だれでも参加できるこどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつないで、持続可能な地域社会に向けて活動を行っている。

◎こどもエコクラブのミッション(＝なすべきこと)

1. 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもたちの「未来を創る力」を育てる。
2. 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進する。

◎こどもエコクラブの 3 つの指針

① 「ワクワク！」を応援します。

自然への興味関心をきっかけに、子どもたちの感性と知的好奇心を育みます。自然を理解し守ることが、人間の生活だけでなく地球の未来にとっても必要なことを、感覚を通して学びます。

② 「生きる力」を育みます

エコ活動で感じた疑問や課題に対して、自ら考え、判断し、行動する力を育みます。同時に、仲間たちと一緒に学び、体験を共有することで、人を思いやる豊かな感受性を培います。

③ 「地域を想う心」を育てます

地域をはじめとする身近な自然を大切に想う心を育てます。観察やエコ活動を通して自然環境に触れ、それを支える人々や地域文化を理解することで、自分の住むまちを愛し、主体的に守ろうとする心を養います。

Ⅱ．自治体におけるこどもエコクラブの活用

１　環境施策の推進に貢献するこどもエコクラブ

「こどもエコクラブ」事業は、自治体における環境施策の推進に役立ちます。こどもエコクラブ事業を取り入れ、クラブが増えることで、以下のような地域における環境施策の好循環が生まれていきます。

・地域の子どもたちへの環境学習・体験活動の機会を提供できる
・地域の子どもたちの環境活動への関心度や活動内容を把握できる
・環境に関心の深いキーパーソン（クラブのサポーター）とのネットワークが構築・活用できる
・環境教育事業の実績および協働取組事例として公開できる
・環境教育・環境保全事業を効果的に展開できる
・地域住民への環境施策としてアピールできる等の効果が期待できる

自治体担当者の声（こどもエコクラブ HP「リアルヴォイス」より抜粋）

・こどもエコクラブは、人と環境の関わりについて理解を深めるだけでなく、人と人、人と地域を結ぶ重要な役割を持っていると実感しています。
・環境について子どものときから関心をもってもらうということはこれから大切になってくるのかなと思います。こどもエコクラブはその機会を提供してくれるしくみですから、できるだけ多くの子どもたちが活動に参加していくよう支援していくことがコーディネーターの仕事だと思いますので、努力していきたいと考えています。
・クラブからの活動報告を見ていると子どもたちのパワフルさや楽しさが伝わってきて、こちらもその楽しさや気持ちを共有しているような感じがするときがあります。

２　こどもエコクラブで、環境施策(環境教育)の取り組みを強化

自治体の環境施策にこどもエコクラブを活用している事例を紹介します。

（1）高岡市

市内の保育園でのグリーンカーテン実践を進めるための動機付けとして、こどもエコクラブを活用しました。複数の保育園が登録することで意識が高まり、グリーンカーテン事業が活性化しました。

➡取り組みを開始した 2013 年度から、全園で活動のふりかえりの一つとして壁新聞制作にも参加。（市が共通の様式を準備）。

➡2013 年度に団体特別賞を受賞！

さらに、2017 年度は合同で壁新聞を制作、**ミールケア・エコまる賞を受賞!!**

３ こどもエコクラブをきっかけに地域の主体が連携・協働

（1）九州各県

マックスバリュ九州(株)の「イオン　幸せの黄色いレシートキャンペーン」にこどもエコクラブで登録し、投函されたレシート金額の 1%分に相当する、活動に役立つ物品をクラブに贈呈しました。

➡リリースを行い、県庁やクラブで贈呈式を開催。クラブに希望する品を聞き、それを贈った自治体もありました。

（2）福岡県

2019 年度よりスタートした「こどもエコクラブ協働プログラム」を活用し、県、こどもエコクラブ、NPO(ふくおか環境カウンセラー協会)が協働。県内市町村事務局の登録を促進し、サポーターやクラブの交流促進を図ります。

➡3 か年計画で実施し、「**サポーター連絡会**」の発足を目指しています。

Ⅲ　地域事務局としてご協力いただきたいこと

1　地域事務局から地域の方やクラブへの働きかけ

本事業をご理解いただき、地域事務局としてご登録くださった自治体におかれましては、下記の事項についてご協力をお願いいたします。

（1）広報・登録勧誘

①　クラブ・メンバーを増やす

こどもエコクラブは、誰でもいつでもどんな形でも登録することが可能です。地域で環境保全活動を積極的に行うこどもエコクラブを増やしていくことで、自治体内で環境に関心が高い人や、実際に行動している人を可視化することができます。

全国事務局は、地域事務局に広報用のポスター・チラシを提供します。配布の際は、ターゲットを絞り、事業の趣旨説明をあわせて行うと効果的です。たとえば、幼稚園・保育園、小学校には、園長会、校長会など園長先生や校長先生が集まる機会に出向いていただいたり、体験イベント参加者には終了時に、環境 NPO には連絡会等の場で、人材養成講座受講者には実践の機会としてご説明いただけると一層効果がアップします。

②　認知度を高める

環境イベント・庁舎ロビーでこどもエコクラブの壁新聞や写真(フォトコンテストでの受賞作品やクラブの活動写真等)をぜひご展示ください。クラブの手作りの作品や子どもたちの生き生きとした表情の写真は地域の方や多くの方の注目を集めます。パネルやエコまる（こどもエコクラブのイメージキャラクター）着ぐるみをご利用いただくことも可能です。

自治体のウェブサイトでもこどもエコクラブ募集記事や地元のクラブの活動の様子などを掲載ください。全国事務局のウェブサイトとのリンクもお願いします。ウェブサイトだけでなく、市報などの広報紙にも活用できるイメージキャラクターのイラストを多数用意しています。全国事務局までお問合せください。

（2）クラブとのコミュニケーション

①　こどもエコクラブは、自治体の環境施策の応援団!!

こどもエコクラブには環境への関心が高い人たちが多く登録しています。自治体の環境施策に関する情報やイベント情報を積極的に提供いただき、参加の勧誘をお願いします。クラブが参加したイベント等のレポートをウェブサイトにアップすると、クラブの活動はもちろん貴自治体の施策も全国にアピールすることができます。

②　地域事務局は一番身近なクラブの応援団!!

地域事務局は、クラブにとって誰よりも身近で心強い応援団です。こまめに連絡をとり、クラブの活動状況を把握していただくとともに、ウェブサイトに掲載された活動レポート・壁新聞への応援コメント・拍手をお願いします。地域事務局が支えることで、クラブの活動がしっかりと地域に根づいていきます。

上記を含め、都道府県、市区町村にご協力いただきたい事項をそれぞれ表1，2にまとめましたので、ご確認ください。

表1　都道府県　：（都道府県事務局と称します）

	必ず行っていただきたいこと	可能な範囲でご協力いただきたいこと
①　事業全般	・管下市区町村への地域事務局登録の呼びかけ	・環境教育等促進法に基づく協働取組として事業を位置づけ ・地方自治体の環境教育施策の中に位置づけ（環境基本計画、環境教育等促進法に基づく行動計画等） ・全国事務局に対し協働事業の提案
②　広報	・ポスター、パンフレット等を施設・団体に掲出・配布及び登録の呼びかけ ・イメージキャラクター「エコまる」の積極的な露出・活用 ・ウェブサイトの相互リンク	・独自の媒体(広報紙、ウェブサイト、SNS 等)、イベント等を活用して広報 ・メディア等と連携して広報
③　資金調達・資金提供	・地元企業・団体等への支援の呼びかけ	・地域活動に必要な予算措置、資金調達等 ・クラブの活動に対して資金的支援（助成金等）
④　登録	・(市区町村事務局がない場合)個別クラブの登録用紙を受け付け、全国事務局に送付	
⑤　情報提供	・メール・郵送にて所管エリア内のクラブに環境教育関連の情報提供（地域の環境イベント、コンクール等）	・独自のニュースレター発行
⑥　活動報告	・（市区町村事務局がない場合）クラブから諸様式によって提出された活動報告に対して「アーススタンプ」を押印して返却 ・全国事務局に活動報告を送信 ・全国事務局から届く管下クラブの活動報告連絡を受け、ウェブサイトで活動の様子を確認	・活動を報告したクラブとのコミュニケーション(褒める、励ます)
⑦　継続インセンティブ	・継続の呼びかけ	・地域版の事業実施報告書/活動レポート集作成・配布 ・地域独自のグッズ作成・配布
⑧　顕彰	・壁新聞・絵日記の作成を呼びかけ ・壁新聞・絵日記を集約（選考）し、全国事務局に送付	・独自の顕彰制度創設
⑨　交流会等		・独自の交流会・イベント開催 **・全国事務局と連携・協力して交流会・イベントの企画・運営（全国事務局にご相談ください）** ・全国フェスティバルへの参加
⑩　サポーター研修会		**・全国事務局、市区町村等と連携・協力してサポーター研修会を開催（全国事務局にご相談ください）**

表2　市区町村　：（市区町村事務局と称します）

	必ず行っていただきたいこと	可能な範囲でご協力いただきたいこと
①　事業全般		・環境教育等促進法に基づく協働取組として事業を位置づけ ・地方自治体の環境教育施策の中に位置づけ（環境基本計画、環境教育等促進法に基づく行動計画等） ・全国事務局に対し協働事業の提案
②　広報	・ポスター、パンフレット等を施設・団体に掲出・配布及び登録の呼びかけ ・イメージキャラクター「エコまる」の積極的な露出・活用 ・ウェブサイトの相互リンク	・独自の媒体(広報紙、ウェブサイト、SNS 等)、イベント等を活用して広報 ・メディア等と連携して広報
③　資金調達・資金提供	・地元企業・団体等への支援の呼びかけ	・地域活動に必要な予算措置、資金調達等 ・クラブの活動に対して資金的支援（助成金等）
④　登録	・個別クラブの登録用紙を受け付け、全国事務局に送付	・クラブ設立及び設立の支援
⑤　ツール		・全国事務局からツールを受け取り、クラブへ送付
⑥　情報提供	・メール・郵送にて所管エリア内のクラブに環境教育関連の情報提供（地域の環境イベント、コンクール等）	・独自のニュースレター発行
⑦　活動報告	・クラブから諸様式によって提出された活動報告に対して「アーススタンプ」を押印して返却 ・都道府県事務局に活動報告を送信 ・全国事務局から届く管下クラブの活動報告連絡を受け、ウェブサイトで活動の様子を確認	・活動を報告したクラブとのコミュニケーション(褒める、励ます)
⑧　継続インセンティブ	・継続の呼びかけ	・地域版の事業実施報告書/活動レポート集作成・配布 ・地域独自のグッズ作成・配布
⑨　顕彰	・壁新聞・絵日記の作成を呼びかけ ・壁新聞・絵日記を集約（選考）し、都道府県事務局に送付	・壁新聞の掲示 ・独自の顕彰制度創設
⑩　交流会等		・独自の交流会・イベント開催 **・全国事務局、都道府県と連携・協力して交流会・イベントの企画・運営（全国事務局にご相談ください。）** ・全国フェスティバルへの参加
⑪　サポーター研修会		**・全国事務局、都道府県等と連携・協力してサポーターやコーディネーターの研修会を開催（全国事務局にご相談ください。）**

※地域事務局として既にご登録をいただいている自治体は継続登録となっているため、年度ごとのご登録は必要ありません。ご担当者やご協力内容の変更等がありましたら、様式１にてお知らせください。
※ご登録を抹消したい場合には、全国事務局あてに文書にてご通知ください。

2 全国事務局から地域事務局へのサポート

（1） 関連情報やプログラムの提供

地域事務局としてご登録いただいた自治体には、全国事務局より関連情報等をはじめ、クラブの活動に役立つプログラムやツールを提供いたします。

① コーディネーターメール・マガジン

登録クラブの情報をはじめ、環境教育に関する情報や他自治体のユニークな取り組み事例の紹介や連携事例等を、全国事務局から、月に 2 回程度の頻度で配信いたします。

【登　録　先】こどもエコクラブ全国事務局：j-ecoclub@jeas.or.jp

【登録方法】上記アドレスまで、タイトルを「こどもエコクラブメールマガジン登録」とし、本文に自治体名を明記の上、メールを送信してください。

※複数のアドレスに送信を希望する際には、配信希望のアドレスを全て掲載してください。

② 管下のクラブ情報の提供

登録数・連絡先（代表サポーター名・住所・TEL 等）・活動レポート等を適宜お送りしますので、管下の環境イベント等の広報等お呼びかけにご活用ください。

③ 広報ツール（壁新聞・絵日記、着ぐるみ・旗、ポスター・パンフレット）の貸出・提供。（様式 2 参照）

④ イメージキャラクター（エコまる）の画像使用

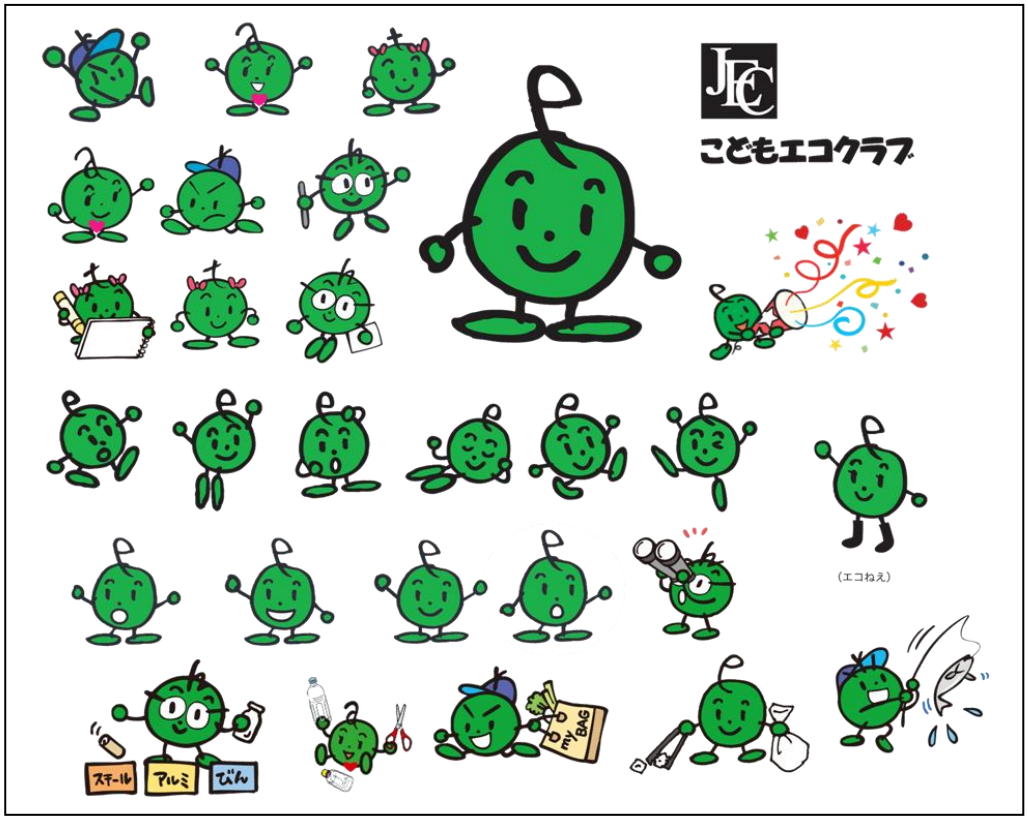
地域事務局の制作物やウェブサイトで、使用可能です。（様式 3 参照）

⑤ イベント情報の掲載　貴自治体のイベント情報を全国に発信できます（希望により掲載）

⑥ 自治体名のウェブサイト掲載。

【イメージキャラクター（エコまる）の画像（例）】

季節や活動にあわせた画像をご活用ください。



(2) こどもエコクラブ協働プログラム

こどもエコクラブを活用した環境活動を促進するために全国事務局が地域事務局に伴走して活動します。例えば、交流会・研修会等イベントの企画・運営、講師派遣や(3)のコーディネーター説明会を管下の市町村を対象に実施する場合など、全国事務局までお気軽にご相談ださい(全国で 5 ヶ所程度)。

(3)コーディネーター説明会

事業の趣旨やこどもエコクラブの仕組みを活用した環境教育・環境活動促進施策について説明するとともに、自治体と連携することで大きな成果を挙げているクラブの事例等を紹介する説明会を、以下のとおり開催します。ぜひご参加ください。

【時期】2020 年 11 月下旬頃　　【場所】公益財団法人日本環境協会　会議室(東京都千代田区)

3 こどもエコクラブの特典(参考)

こどもエコクラブに登録すると下記の特典があります。ぜひ管内のクラブでの情報共有をお願いします。

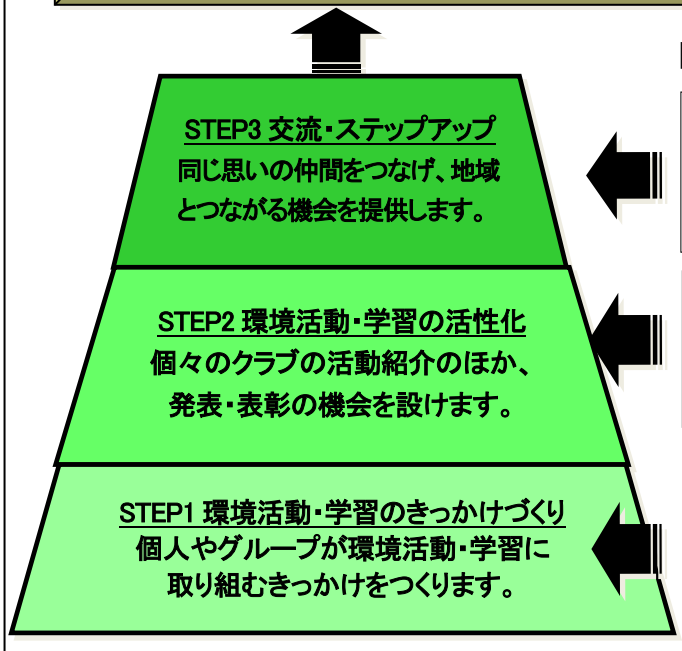
① メンバーの証 「メンバーズバッジ」がもらえます！
色はお楽しみに！
② 活動を報告すると、環境にくわしい専門家から
エールメッセージが届きます！
③ 活動をまとめた壁新聞を作ると、全国フェスティ
バルに参加できるチャンスが！
④ 賠償責任保険に自動加入されます！

地域事務局によるご協力の具体的なメニューを、こどもエコクラブ事業の指針に関連付けて整理すると、以下のようになります。皆様方と手を携えて子どもたちの環境活動をサポートしてまいりたいと考えております。子どもたちの環境活動がより活発になるよう、ご支援・ご協力いただきますようお願いいたします。

〈事業の指針と実施内容の関連図〉

【こどもエコクラブ事業の3つの指針】

① 自然への感性と知的好奇心を培う
② 「生きる力」を育む
③ 「地域を想う心」を育てる



【全国事務局提供のメニュー】

- ・地域交流会・研修会への協力
- ・全国フェスティバル
- ・壁新聞に対する有識者からのコメント

- ・クラブの活動レポートの掲載
- ・活動レポートに対する有識者からのメッセージ
- ・壁新聞・絵日記の募集

- ・こどもエコクラブの募集・広報
- ・ツール・プログラムの提供
- ・環境活動・学習に役立つ情報の提供
- ・広報ツール等の貸し出し

【地域事務局提供のメニュー例 】

- ・地域交流会の実施
- ・地域連絡会の結成
- ・壁新聞等の展示

- ・活動レポート集の作成
- ・ニュースレターの作成
- ・活動発表会の実施
- ・壁新聞・絵日記顕彰・発表会

- ・こどもエコクラブの広報・募集
- ・体験プログラムの実施
- ・イベント案内の送付
- ・活動助成金・支援物品の提供
- ・クラブの結成

Ⅳ　自治体によるこどもエコクラブ支援事例

こどもエコクラブは、多くの自治体において地域に根差した環境教育推進施策として活用されており、各自治体が様々な形でクラブへの支援を行っています。

【自治体による支援の一例(令和元年度)）

（1）募集記事・ニュースレター・報告書の制作等	
募集記事・紹介記事	新潟県、三重県、佐賀県、福島県郡山市、茨木県水戸市、栃木県真岡市、千葉県浦安市、岐阜県岐阜市、大阪府高槻市、兵庫県伊丹市、福岡県筑紫野市・春日市、長崎県佐世保市
活動報告書の発行・配付	秋田県、茨城県、群馬県、三重県、北海道函館市、埼玉県川越市
ニュースレターの発行	岩手県、群馬県、千葉県、新潟県、福岡県、福岡県春日市
（2）講師派遣、物品・助成金等の提供	
クラブへの講師の派遣	京都府木津川市
クラブへの物品提供 （バンダナ・帽子などのオリジナルグッズや壁新聞制作用の模造紙等）	宮城県、秋田県、福島県、福岡県、千葉県市川市、岐阜県岐阜市、兵庫県神戸市
クラブへの助成金 （地元企業等との連携含む）	埼玉県、福井県、長野県、滋賀県、鳥取県、佐賀県、福井県永平寺町、静岡県藤枝市、
（3）イベント・展示会・交流会	
環境イベントの開催 （壁新聞の展示、エコまるの活用）	茨城県、長野県、福岡県、沖縄県、秋田県由利本荘市、千葉県市川市、静岡県富士市、徳島県阿南市、福岡県春日市、熊本県八代市
壁新聞・絵日記展示会の開催	青森県、秋田県、茨城県、島根県、熊本県、沖縄県、北海道釧路市、神奈川県相模原市、愛知県豊田市、鹿児島県鹿児島市
交流会・活動発表会の開催 （単独イベントまたは環境イベント内のー プログラムとして ）	岩手県、群馬県、埼玉県、千葉県、静岡県、三重県、滋賀県、大阪府、岡山県、高知県、北海道札幌市・函館市、埼玉県越谷市、福井県鯖江市、岐阜県岐阜市、滋賀県草津市、大阪府大阪市　徳島県阿南市、福岡県春日市
サポーター交流会の開催	岩手県、埼玉県、佐賀県
（4）クラブの結成	
クラブの設立・運営 （自治体においてクラブを結成、メンバーを募集し環境活動を実施）	北海道北見市、宮城県南三陸町、福島県福島市、会津若松市、茨城県龍ケ崎市、栃木県宇都宮市、群馬県前橋市、埼玉県坂戸市、千葉県習志野市・市川市、東京都中央区・新宿区・荒川区・板橋区・調布市、神奈川県鎌倉市・藤沢市、長野県松本市・岡谷市・飯田市、静岡県浜松市・三島市・富士市・藤枝市、愛知県豊田市・長久手市、京都府木津川町、大阪府大阪市、兵庫県姫路市・たつの市、鳥取県鳥取市、広島県福山市、沖縄県南風原町
連絡会の結成 （クラブ支援者である大人との情報共有）	群馬県、静岡県富士市

※自治体による支援事例の一覧は、ウェブサイトに掲載しています。

※類似のお取り組みをご検討の際は、全国事務局までお気軽にお問合せください。

参考1　こどもエコクラブの運営体制

本事業は「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」に基づいた「公益財団法人日本環境協会」（全国事務局）、「地方自治体」（地域事務局）、「企業・団体」（事業支援）との産官民による協働取組として位置付けられ、環境省の後援のもと実施されています。また公益財団法人日本環境協会は、同法に基づく環境教育等支援団体の指定を受けています。

（1）こどもエコクラブ全国事務局の役割

公益財団法人日本環境協会内に「こどもエコクラブ全国事務局」を置き、同事務局において、各クラブの登録管理、活動プログラム等の企画・提供、各種交流等、下記の業務を行います。

① クラブの登録受付および情報管理
② 教材等の作成、クラブへの送付
③ こどもエコクラブウェブサイト・SNS の運営
④ 活動レポートの受付、有識者からのコメントの送付、アーススタンプの付与
⑤ 広報ツールの貸し出し等、その他クラブの活動支援に係る業務（資料 2 参照）
⑥ クラブの活動を発表する機会（こどもエコクラブ交流会等）の提供
⑦ 本事業運営にかかる資金調達のための協賛企業・団体への依頼・対応等
⑧ こどもエコクラブ説明会・研修会（全国・地域）の実施
⑨ その他、子どもたちへの活動支援となる業務

（2）地域事務局の役割

全国事務局と連携しつつ、事業の広報や地域のクラブへの支援にご協力をいただきます。具体的な協力内容は、「Ⅲ　地域事務局としてご協力いただきたいこと」(P.5-7)のとおりです。

本事業にご賛同いただき、こどもエコクラブ地域事務局として登録された各都道府県及び市区町村のご担当者を「コーディネーター」と称します。全国事務局は、コーディネーターと情報を共有し、クラブ情報等を適切に管理します。

（3）アドバイザリー・ボード

アドバイザリー・ボードは、環境教育に関する有識者及び環境省・文部科学省、地方公共団体の環境教育担当者、企業担当者及び有識者等によって構成され、こどもエコクラブ事業の運営に関する指導・助言を行います。≪委員長：こども環境学会　理事　小澤　紀美子氏≫

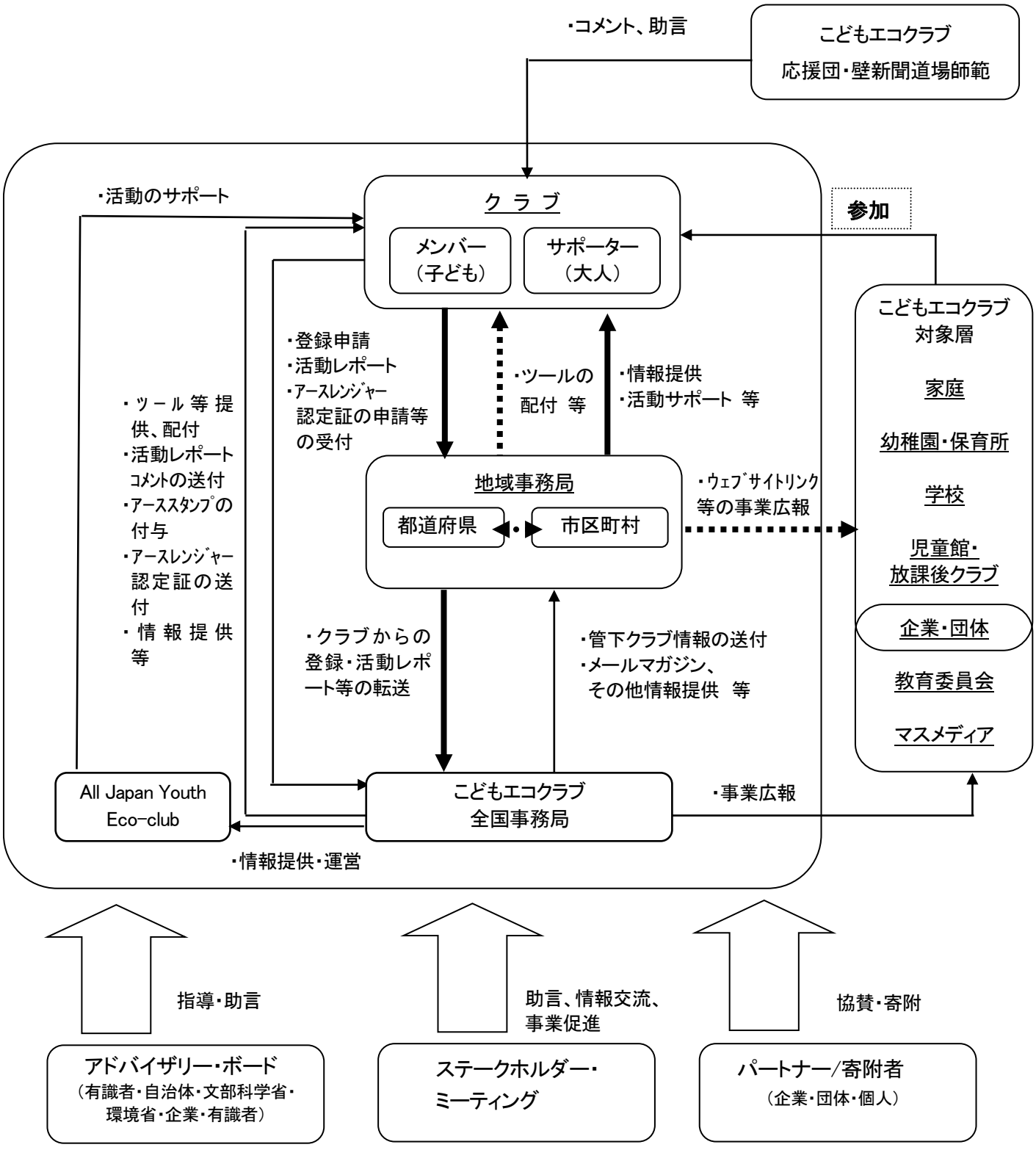
（4）ステークホルダー・ミーティング

ステークホルダー・ミーティングは、関係企業・団体、自治体、教育関係者等により構成され、様々な立場から助言をいただくとともに相互の情報交流を図ります。

（5）All Japan Youth Eco-club

こどもエコクラブの OB・OG を中心とした若い世代のネットワークです。メンバーの子どもたちと年齢が近く、経験豊富な若い人材が、様々な形でクラブの活動を応援します。

〈こどもエコクラブ事業　運営体制〉



━━（実線）：地域事務局としての必須協力業務

■■■（点線）：地域事務局としてのさらなるクラブ支援業務（自由選択）

※管下クラブの登録・活動レポートの受付事務、情報提供、事業広報等、必須協力業務以外に、ツールの配付、地域版ニュースレター発行等、クラブへのご支援をお願いいたします。

参考2　こどもエコクラブ事業のしくみ

1　事業の目的

こどもエコクラブは、幼児（3 歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。子どもたちのエコ活動や環境学習を支援することで、身近な自然を大切に思う心と、問題解決のために自ら考えて行動する力を育みます。また、子どもたちが人と環境の関わりについて理解を深めることで、地域に根ざした環境保全活動の環が広がることを目的としています。

2　基本の活動

（1）各クラブの自主的な活動（「エコロジカルあくしょん」といいます。）

それぞれのクラブのメンバー（子ども）の興味・関心に基づき、自らの活動内容（地球温暖化防止に関する活動、水生生物調査、自然観察、リサイクル活動等）を決めて自主的に取り組む活動です。

（2）全国のクラブの共通的活動（「エコロジカルとれーにんぐ」といいます。）

全国事務局がウェブサイト等を通じて提供している誰でも簡単に取り組める共通的学習活動です。

（3）指導者向けプログラム（「エコスタディ」といいます。）

コーディネーター・サポーターに対して、誰でも簡単に子どもたちと環境教育・環境学習が行えるプログラムをウェブサイト上で提供しています。

（4）活動レポート

クラブは、上記（1）（2）で掲げた活動の報告を少なくとも年1回、全国事務局まで提出してください。なお、報告は各クラブ（サポーター）がウェブサイト上の所定の「活動レポートフォーム」からの入力が便利です。1 つの活動レポートにつきアーススタンプ（後述4　（6））が1つ付与されます。また、クラブの活動レポートは、全国事務局より当該自治体のコーディネーターにも共有されます。

※所定の用紙（ウェブサイトよりダウンロードできます）を印刷してご記入いただいても構いません。

※クラブより自治体宛に活動レポートが届いた場合には、随時全国事務局にご転送ください。

3　クラブの登録等

（1）クラブの構成

幼児（3 歳）から高校生までの子ども(メンバー)1 名以上と、活動を支える大人(サポーター)でクラブをつくり登録します（登録料や会費は無料）。家族や地域、幼稚園・保育所、学校（クラス、学年、全校など）、児童館・放課後クラブの仲間、企業・団体など、自由な形態で登録することができます。

（2）クラブの名称

それぞれのクラブは、自由に名称を付けることができます。

（3）サポーター

各クラブには、それぞれのクラブの活動を支援する「サポーター」（大人、各クラブ１人以上）が必要です。（高校生や大学生もサポーターとして登録できますが、代表サポーターは成人の方に限ります。）　子どもたちの活動へのアドバイス、仲間づくりの手助け、地域事務局や全国事務局等との連絡など、必要に応じて支援を行う役割を担います。

（4）クラブの登録

登録は年間を通じいつでも行うことができます。参加を希望するクラブは、ウェブサイト上の「登録フォーム」あるいは所定の「登録用紙」にて、次の必要事項を全国事務局に登録します。なお、全国事務局はクラブの登録情報を、環境保全行政推進の目的に使用する場合に限り地域事務局に提供します。同時に、全国事務局及び地域事務局は、登録クラブ情報を厳重に管理します。

（5）クラブ登録情報の変更

以下の登録情報に変更があった場合には、所定の「変更・解散届」（ウェブサイトからダウンロード可能）に必要事項を記入して、全国事務局に届け出るものとします。

① クラブの名称
② メンバー・サポーターの人数と内訳
③ 代表サポーターの氏名・連絡先
④ 支援ツール（4にて後述）の希望の有無
⑤ その他こどもエコクラブ全国事務局が必要と認める事項

（6）クラブの継続

年度を越えて登録を継続するクラブは、年度当初に「継続届」(ウェブサイトからダウンロード可能)を提出いただきます。6 月末日を締切としていますので、管内のクラブへのお呼びかけをお願いします。

（7）クラブの解散

クラブを解散する場合には、所定の「変更・解散届」（ウェブサイトからダウンロード可能）に必要事項を記入して全国事務局に送信してください。

※クラブから地域事務局宛に(4)～（7）の届出があった場合には、随時全国事務局に転送してくださいますようお願いいたします。

（8）活動時の賠償責任

登録したメンバー及びサポーターは、こどもエコクラブの活動中に、メンバーまたはサポーターの過失によって、第三者に損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合を対象とした賠償責任保険 （資料 1 参照）に、全国事務局が保険料を負担し自動的に加入します。※加入日は、全国事務局あるいは地域事務局がクラブから登録用紙を受理した日（早い日付有効）となります。

4 支援ツール等

登録したメンバーや代表サポーターには、次のような支援を行います。

（1）メンバーズバッジ(無料)

「メンバーズバッジ」を、希望するメンバー全員に無償で提供します。活動の動機づけや、メンバーの仲間意識を高めるときに役立ちます。

【メンバーズバッジ】

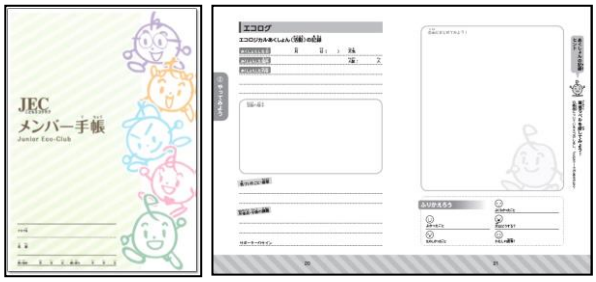
（イメージ）

（2）メンバー手帳（実費頒布）

こどもエコクラブとしての活動を子ども自身が記録し、やる気と継続性を生み出す助けとなる手帳を購入することができます（送料込 1 部 100 円）。

手帳を活用することで、課題の発見→計画→実践→ふりかえりというサイクルを促進し、活動のステップアップにつなげます。活動レポートにより付与されるアーススタンプ（4（6）参照）を集めるシートとしても活用できます。

【メンバー手帳】



（3）ぼくの／わたしのエコカード(無料)

子どもたちに身につけてもらいたいエコな習慣や行動を紹介したカードを、希望する未就学児のメンバーに送付します。行動できたら色を塗っていくことで、楽しみながら環境に配慮した行動を実践することができます。ウェブサイトからもダウンロードできます。

【ぼくの／わたしのエコカード】

（4）応援マニュアル(2 冊目から実費頒布)

活動のヒントや心得、こどもエコクラブの理念などを記載したサポーター必携の冊子です。新規登録クラブの代表サポーターに 1 部お送りします（追加の場合は実費(送料込 1 部 100 円)でご購入いただけます）。ウェブサイトからもダウンロードできます。

【応援マニュアル】

（5）クラブの活動レポートに対するコメント

クラブから全国事務局ウェブサイトを通じて提出された活動レポートや応募のあった壁新聞に対し、活動の発展・充実に役立つこどもエコクラブ応援団（環境カウンセラー等の有識者）からのコメントを、ウェブ上に掲載します。

（6）アーススタンプ

活動レポートをしたクラブに対し、1回の報告につき1つの「アーススタンプ」を付与します。活動レポートに対して全国事務局からメール送信するスタンプを各クラブにてダウンロードし、サポーターが各メンバーにコピーして配布してください。

※ウェブ環境がなく、紙で提出された活動レポートに対しては、全国事務局よりスタンプをクラブに送付いたします。また、地域事務局に活動レポートが届いた際には、「アーススタンプ」の付与をお願いいたします。

【アーススタンプ】

（7）アースレンジャー認定証

5 個以上のアーススタンプを集めたクラブには「アースレンジャー認定証」をお送りします。希望するクラブは、所定の「申請用紙」（ウェブサイトでダウンロード可能）に必要事項を記入の上、全国事務局に申請を行います。また、3 年間活動して「アースレンジャー認定証」を取得すると銀バッジを、6 年間活動すると金バッジをお送りします。

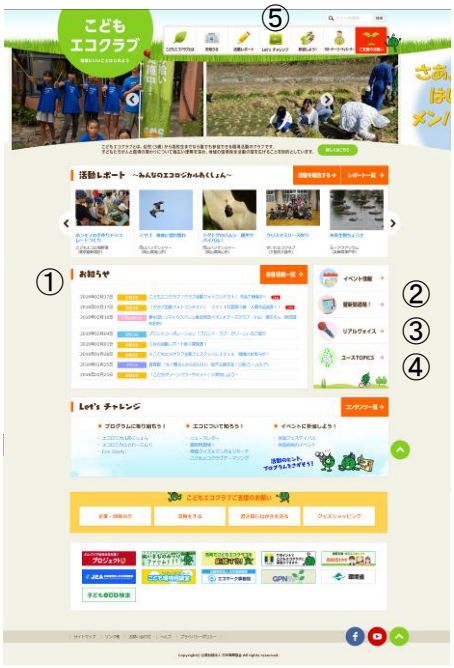
【金バッジ・銀バッジ】

【アースレンジャー認定証】

（8）こどもエコクラブウェブサイト （http://www.j-ecoclub.jp/）

全国のこどもエコクラブの活動を紹介する「活動レポート～みんなのエコロジカルあくしょん～」の他、クラブの活動に役立つ情報やイベント案内、企業・団体からの情報を随時掲載いたします。

【こどもエコクラブウェブサイト】



★主なコンテンツ

① お知らせ…各地域事務局や全国事務局が開催するイベント等の情報、クラブが申請できる助成金の情報などを掲載します。掲載を希望する環境イベント等がございましたら、ぜひ情報をお寄せください。

② 壁新聞道場…全国から届いた壁新聞に対して、師範（有識者）からの「ゴシドウ」（コメント）を掲載します。

③ リアルヴォイス…全国のクラブの様子のほか、先輩へのインタビューやクラブの名前の由来などの特集記事を掲載します。

④ ユース TOPICS…All Japan Youth Eco-club（こどもエコクラブOB・OG）の活動を掲載します。

⑤ Let’s チャレンジ…クラブや学校で取り組むことができるプログラムや、こどもエコクラブに協賛いただいている企業・団体・自治体が提供する「アシストプログラム」を紹介しています。

（9）サポーターメール・マガジンおよびコーディネーターメール・マガジン

全国のイベント情報・環境教育に関する情報や他クラブの事例紹介等を、配信を希望するサポーターおよびコーディネーターに対して全国事務局から電子メールで配信いたします（月 2 回程度）。

5 こどもエコクラブ メインアクティビティ

（1）全国・地域交流会の開催

全国で展開されているこどもエコクラブのさまざまな活動を紹介し、子どもたちの交流・学習の場として「全国フェスティバル」を開催します（開催日（予定）：2021 年 3 月 28 日、会場：国立オリンピック記念青少年総合センター）。

また、地域事務局等の主催により全国各地で「交流会」（予定：岩手、群馬、埼玉、三重、滋賀、大阪、岡山、高知など）が行われます。

（2）「全国エコ活コンクール」壁新聞・絵日記の募集（10 月頃募集開始、1 月締切）

日頃の活動をまとめた「壁新聞」「絵日記」を、以下①～③を目的に募集します。壁新聞部門には環境大臣賞・文部科学大臣賞・消費者庁長官賞等の特別賞を、絵日記部門には優秀賞を設けています。

① 子どもたちが日頃のエコ活動(エコロジカルあくしょん)をまとめることによって、活動を通して感じたことなどをふりかえる機会や新しい気づきを得るきっかけとすること。

② 子どもたちの創意・工夫にあふれる壁新聞や絵日記を顕彰したり、全国各地で展示したりすることによって、活動意欲の向上や心豊かな成長を育むとともに、地域を巻き込みながら環境活動の輪を広げていくこと。

③ 子どもたちの活動に対して有識者からアドバイスを行い、活動の充実・発展を促進すること。

【壁新聞部門】日頃の活動をまとめた壁新聞　※クラブ単位で制作。

【絵日記部門】この 1 年で一番印象に残った活動、みんなに一番伝えたい活動などを書いた絵日記

※個人単位で制作

（3） プロジェクトD

全国の子どもたちが中心となって、東日本大震災の被災地の緑のまちづくりに取り組んでいます。被災地周辺でとれたどんぐりを全国で育て、それらを植え戻すことを通じ、被災地を応援する気持ちを届け、復興の支援及び地域の生態系に配慮した緑化に貢献します。

既に苗木の植栽は終了しており、2020 年度は岩手、宮城、福島の各植樹地で成長を助けるための草刈り等を行う計画です。

≪実施主体≫公益財団法人日本環境協会、国土緑化推進機構、日本植木協会

（4）活動フォトコンテスト

クラブからの活動レポートの投稿促進を目的に、ウェブサイトを活用した活動フォトコンテストを開催し、表彰します。

６ こどもエコクラブ事業の運営費の調達等

こどもエコクラブ事業は企業・団体や個人のみなさまからの会費・寄附により運営されています。趣旨に賛同し、こどもエコクラブの活動がより活性化することを目的に個人や企業・団体から会費・寄附等を募っています。貴自治体におかれましても、寄附活動の周知、呼びかけ等にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（1）個人や企業・団体から会費・寄附等の募集

① パートナーの募集

企業・団体を対象にパートナー会員を募っています。また、子どもたちの活動が充実するようさまざまな連携を図ります。

② 寄附の募集

個人及び企業・団体等を対象に、様々な形での寄附を募っています(郵便振替・銀行振込、クレジットカード、携帯電話料金とあわせてのご寄附など。詳しくはウェブサイトをご覧ください)。

③ 書き損じハガキの募集

年賀状や暑中見舞いなどで間違えたり余ったりしたハガキ(未投函)を募っています。

④ 古本募金「きしゃぽん」

不要になった本や DVD を換金して寄附していただく新しいタイプの募金活動です。チラシがございますので、広報にご協力いただける場合は全国事務局まで必要部数をお知らせください。

⑤ Ｔポイント

全国にあるＴポイント提携先やインターネットの提携先で、ご利用金額に応じて貯めたり使ったりすることができる共通ポイント「Ｔポイント」をご寄附いただけます。

未来を担う子どもたちのために、

一緒にがんばりましょう!!

≪こどもエコクラブを応援してくださっている企業・団体≫

アース製薬
アマノ
イオンファンタジー
イオンリテール
イオン 1%クラブ
出光興産
INNER ENERGY TECH INC.
SG ホールディングスグループ（佐川急便）
エフピコ
塩ビ工業・環境協会
王子ホールディングス
教育出版
共立理化学研究所
キリン
グリーンクロスジャパン
グリーンサイクル
ケニス
こくみん共済 coop
サントリーホールディングス
ジーエス・ユアサ バッテリー
JTB
JBRC
シミズオクト
清水建設
ジャパンビバレッジグループ
住商フーズ
3R 活動推進フォーラム
積水化学工業
大和ハウス工業
タカラトミー
宝ホールディングス
鉄建建設
東京国際フォーラム
東京建物
DOWA エコシステム
トヨタ自動車
西日本ビル代行
日本印刷産業連合会・グリーンプリンティング認定事務局
日本 CCS 調査
日本容器包装リサイクル協会
長谷工コーポレーション
バンダイナムコホールディングス
ブリヂストン
プロントコーポレーション
文化シヤッター
HOYA アイケアカンパニー
マインズ農業協同組合
マツモトキヨシホールディングス
ミールケア
三井化学
三井住友海上火災保険
三井住友銀行
三菱地所
三菱地所設計
三菱地所ホーム
三菱地所リテールマネジメント
三菱地所レジデンス
三菱電機
山田養蜂場
リード
リソー教育グループ
リトルスタジオインク
龍角散
レッドキャベツ
Render

（2020 年 3 月現在）